
だから私は。

N A N A

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
だから私は。

【Nコード】
N6923J

【作者名】
NANA

【あらすじ】
淡いような、濃いような。
そんな小さな恋愛の小さなお話。

だから私はここまで生きてこられた。

あなたの事を好きだったから。

でもその想いも今日でお終い。

あなたは私の想いには気づいてくれなかった。

涙が出そうになったのを必死でこらえ

その場を後にした。

涙は案の定溢れてきた。

この瞬間が来るのが怖かった。

こんな事になるなんて信じたくもなかった。

「どうしたの？」

その声に気づいて顔を上げた時

彼がいた。

心配してくれたのがうれしかった。

また涙が出た。

彼に全てを話した。

「そっか…でもさ…」

頬にちょっと暖かい感触がはしる。

「俺だったら…そんな顔、お前にさせない。」

「へっ!？」

「俺は…俺は…」

お前が…好きなんだ…ずっと…好きだった…」

私の心臓が跳ねた。

私が好きだったのはあの人だけだったけれど

頭が混乱する。

次の瞬間には抱きしめられていた。

暖かった。

こんな暖かさに触れたのは初めてだった。

そこで

やっと

気づく事が出来た。

「どうしたんだ？」

不安げになる彼に

こう言った。

「私も……好きだよ……」

私は気がつかなかったただだった。

あの人を好きだと錯覚していた。

私は長い間“人間”を拒絶していた。

でも

心の鍵を解いてくれたのはあなた。

うれしかった。

愛しかった。

くくく

あれから

私はあの人と両想いになった。

これから

あなたがいる。だから私は生きていける。

あなたがいる。だから私は勇気がでる。

あなたがいた。だから私は

いきでいける

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6923j/>

だから私は。

2010年10月14日16時03分発行